

第1学年 音楽科学習指導案

山梨市立加納岩小学校
第1学年 25名
指導者 教諭 小宮山 万里

1. 題材名 ようすをおもいうかべて、うたおう

2. 題材の目標

歌詞の表す様子を想像し、身体表現をしながら歌う。

3. 学習指導要領との関連

(1) 指導事項

A	(1)	イ	歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌うこと。
表	歌唱	ウ	自分の歌声及び発音に気を付けて歌うこと。
現			

(2) 指導する〔共通事項〕の主な内容

ア	(ア) 旋律、速度、強弱、音色	歌詞の情景に関連した強弱や速度、音色の変化の工夫
---	-----------------	--------------------------

4. 題材設定の理由

(1) 題材について

本題材では、学習指導要領第1学年及び第2学年の目標(1)及び(2)ならびにA表現(1)イ「歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌うこと」を実現するためのものである。1番から4番のそれぞれ異なった歌詞に着目させ、様子を想像し、感じ取ったことを言葉や体で表したり、友達と伝えあったりしながら表現を豊かにしていく活動を展開する。

指導にあたっては、全体で1番の「はる」の歌詞を読み、身体表現の手がかりになる言葉を確認する。そして、その言葉から思い浮かぶ様子を体で表しながら歌う。その際、動きを表すヒントカードを提示し、歌詞に合った動き方を工夫して歌う手立てとする。その後、「なつ」「あき」「ふゆ」の小集団によるグループ学習を取り入れ、友達と交流しながら、グループで身体表現を使った歌い方の工夫へとつなげ、自分の思いを歌に乗せて歌うことができる喜びを味わわせたい。また図画工作の学習で、楽曲から感じ取った様子を絵にして、児童のイメージをより膨らませていくことも関連して行っていく。

(2) 児童の実態

男子13名(うち特別支援学級在籍1名)、女子12名、合計25名の学級である。

児童はこれまで、学習の始めに「ひらいた ひらいた」や「かたつむり」など学習した歌を使って、速さや強弱を変えて歌ってきた。「ひらいた ひらいた」では、花の名前を変えることで、花の大きさを考えて、輪を小さくしたり大きくしたりして歌う姿が見られた。その際、輪の大きさに合わせて、声の大きさも変えて歌う児童の姿も見られ、身体表現を

工夫することで歌い方に表すことができた。また、「たなばたさま」や「うみ」では、歌詞から様子を想像し、グループ毎に歌詞に合った表現を体で表したり、強弱や速さ、音色を考えたりして歌い方の工夫を行ってきた。

本題材では、これまで学習してきたことを基に、歌詞から歌唱表現に変化を付けられるように指導していく。2～3人の少人数グループ学習を行い、児童の思いを歌に乗せて表すことができるよう、段階を追って授業を展開していく。

5. 主な教材名及び教材について

「はるなつあきふゆ」三浦真理 作詞・作曲

色や形、動きなど様子を浮かべやすい言葉が多く、子ども達にわかりやすい言葉で四季が表現されているため、歌詞の内容から歌い方を工夫する活動を展開するのに適している。

6. 本題材での評価規準

ア音楽への関心・意欲・態度	イ音楽表現の創意工夫	ウ音楽表現の技能
① 歌詞の表す様子を想像したり感じ取ったりし、体を使って表すなどして、楽曲や演奏の楽しさに気づき、歌う学習に進んで取り組もうとしている。	① 歌詞の表す様子を想像し、歌詞によって曲想が変化することを感じ取っている。 ② 歌詞に合った身体表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。(本時)	① 歌詞の様子に合った身体表現をしながら歌っている。

7. 題材の指導と評価の計画（学習の流れ）・・・全4時間

時	○学習のねらい及び活動	◇教師の支援	評価規準・資料
1	○「はるなつあきふゆ」の旋律のまとまりや拍の流れを感じ取って歌う。 ○今後の学習活動の見通しを持つ。	◇旋律のまとまりや、拍の流れを感じ取りながら、のびのびとした歌声で歌えるようにする。 ◇身体表現をしながら「1年2組のはるなつあきふゆ」を、歌うことを目指す。	アー① 【観察】
2	○「はる」の歌詞が表す様子や気持ちを想像しながら聴き、全体で身体表現の手がかりとなる言葉を確認する。 ○「はる」で確認した言葉を中心に、身体表現を考えて歌う。 <予想される児童の反応> ・「ゆれる」・・・体をゆっくり左右に動かしたい。	◇1番の「はる」の歌詞から想像できる様子を思い浮かばせ、歌詞に合った身体表現を工夫させる。 ◇ヒントカードを使い、児童が考える身体表現の手立てとなるようにする。 ◇ワークシートを用意し、児童の思いを書き込むことができるようにする。	イー① 【発言内容・観察・ワークシート】 ・i pad

	<p>・友達と手をつないで揺れたい。</p> <p>・「ふわり」…たくさんある綿毛から、ひとつずつ、風に飛んでいくようにしたい。</p> <p>○夏、秋、冬のグループに分かれ、「なつあきふゆ」の身体表現の手掛かりとなる言葉を確認する。</p>		
3 本 時	<p>○「夏、秋、冬」のイメージをふくらませながら、グループ毎に身体表現を考えて歌う。(グループ活動)</p> <p>○グループ毎に工夫した歌い方を全体に発表し、互いに聴き合う。</p>	<p>◇歌詞に合った歌い方につながるよう、ヒントカードを使って身体表現の仕方を工夫させる。</p> <p>◇歌詞から想像したことを表した絵を掲示することで、イメージを膨らませる。</p> <p>◇ワークシートを使い、児童の思いを書き込むことができるようにする。</p> <p>◇他のグループのよいところを感じ取らせ、自分達のグループと違った工夫に気付かせる。</p>	<p>イー②</p> <p>【グループ活動の様子の観察・ワークシート】</p> <p>・iPad</p>
4	<p>○前時の発表を生かし、グループ毎で練習をする。</p> <p>○夏、秋、冬の季節をつなげ「1年2組のはるなつあきふゆ」を歌う。</p> <p>①バージョンAグループ ②バージョンBグループ ③バージョンCグループ</p> <p>○1番～4番の伴奏の違いを味わいながら歌う。</p>	<p>◇前時の学習を思い出させ、よりよくするにはどうするか考えさせる。</p> <p>◇通して歌うことで、それぞれの歌い方の違いに気付かせる。</p> <p>◇歌詞の内容に即して伴奏が変化していることを感じ取らせ、児童の工夫に加え、更に歌詞と伴奏に合った歌い方の工夫につなげる。</p>	<p>ウー①</p> <p>【観察】</p>

8. 本時の展開

(1) 本時のねらい 歌詞をもとにして身体表現をしながら、歌い方を工夫する。

(2) 日時・場所 平成28年8月31日(水) 14:00～ 1年2組教室

(3) 学習の展開

時	◎学習活動	◇教師の支援・準備	評価
10 分	<p>◎友達の声聴き合いながら、体を動かして歌う。</p> <p>◎リトミックをする。</p> <p>◎前時のふり返しをする。</p>	<p>◇歌詞に合った身体表現ができるよう、速度や強弱の変化をつける。</p> <p>・大きな畑 ・ぞうさんのさんぽ(○○さんのさんぽ)</p>	<p>・歌詞に合わせて強弱や速度を意識しながら歌ったり体を動かしたりすることができている。</p>

12分	<p>・「はる」を身体表現しながら全員で歌う。</p> <p>◎本時のめあてを確認する。</p>	<p>◇「ゆれる」「ふわり」の歌詞からゆったりとした速度を感じ、それに合った身体表現をしたことを思い出させる。</p>	
「なつあきふゆ」の歌詞に合う動きを考えて、歌おう。			
12分	<p>◎夏、秋、冬のグループ毎に分かれ、歌詞のイメージに合った表現を工夫する。</p> <p><予想される児童の反応></p> <p>なつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おおきな」…腕を大きく使って表したい。 ・「ぎぶんと」…みんなで深くもぐっていく様子を表したい。 ・「きらきら」…手を使って表したい。 <p>あき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ちょろり」…急いでいるようにはねながら歌いたい。 ・「いそいで」…楽しくお出かけするように早歩きしながら歌いたい。 <p>ふゆ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ちいさな」…一人一人体を小さくして表したい。 ・「ひかる」…手を開いたり閉じたりして光っている様子を表したい。 ・「つめたい」…友達と一緒にくっつき合って歌いたい。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>◇グループを巡回して歌詞に合った工夫をしているか指導する。</p> <p>◇動きの手だてとなるヒントカードを提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はやく ・ゆっくり ・おおきく ・ちいさく ・みんなで ・ひとりで ・まるくなって ・てをつないで ・あるく <p>◇鍵盤ハーモニカを使って音取りをし、正しい音程でグループ練習ができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループ1枚ワークシート 	<p>◇歌詞に合った身体表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。</p> <p style="text-align: right;">(音楽表現の創意工夫②)</p>
18分	<p>◎グループの発表を全体で聴き合う。</p> <p>①夏グループ A,B,C の発表</p> <p>②秋グループ A,B,C の発表</p> <p>③冬グループ A,B,C の発表</p>	<p>◇A グループの発表が終わったら、同じ季節の B, C グループの児童から、気付いたことやよさを発表させる。</p>	<p>・工夫の違いに気付いたり、よさを見つけたりすることができている。</p>

5分	◎本時のまとめをする。 ・発表を振り返り, 次へつなげる。	◇「1年2組のはるなつあきふゆ」の発表に向けて, 課題を明確にさせる。	
----	----------------------------------	-------------------------------------	--

(4) 学習評価の進め方

◇歌詞に合った身体表現を工夫し, どのように歌うかについて思いをもっている。
(音楽表現の創意工夫②)

- 「おおむね満足できる」状況 (B 評価) と判断できる児童
 - ・歌詞の内容に合わせて, 体を使いながら歌唱表現する。
- 「十分に満足できる」状況 (A 評価) と判断できる児童
 - ・歌詞の内容に合わせて, 身体表現だけでなく, 強弱や速度との関わりに気付いて表現を工夫している。
- 「特別な支援が必要」な状況 (C 評価) と考えられる児童への対応
 - ・歌詞の言葉からどのような様子か問いかけ, イメージを膨らませるように助言する。

(5) ワークシート

なつ	あき	ふゆ
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> おおきな くじら </div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ざぶんと もぐる </div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> たいよう きらきら </div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> こりすが ちよろり </div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> どんぐり かかえ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> いそいで おでかけ </div> <div style="border: 1px solid black; height: 80px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ちいさな ほしが </div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> おそらで ひかる </div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> きたかぜ つめたい </div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px;"></div>

**かしを たいせつにして
うたいましょう。**

- うたうまえにかしをよんで, ようすをおもうかべましょう。
- のことばにきをつけてうたいましょう。



三、こりすが ちよろり
どんぐり かかえ
いそいで おでかけ
あきの もり

四、ちいさな ほしが
おそらで ひかる
きたかぜ つめたい
ふゆの よる

はるなつあきふゆ



一、たんぼほ ゆれる
わたげが ふわり
ちようちようが あいさつ
はるのみち

二、おおきな くじら
ざぶんと もぐる
たいよう きらきら
なつの うみ

はる なつ あき ふゆ

三浦康博 作詞・作曲



〈まとめ〉

- ①「わかった」「できた」喜びを実感する授業の工夫
- ②聴き取る力や感じ取る力を高める学習活動の充実
- ③子どもたち一人ひとりの思いや意図を伝え合う活動の充実
- ④小中9年間を見通した授業作りの工夫

導入

- 導入で身体表現を行ったことは、本時の「動きを考えて歌う」というねらいに合っており、一貫して行うことができていた。
- リトミックをすることで、子ども達が伸び伸びと動くことができ、楽しい雰囲気です授業に入ることができた。
- ▲拍感を身につけさせるためには、リズムに合わせた動きをさせることも大切。

展開

- 3人組という人数が、話し合いをするのにちょうどよかった。
- 黒板のヒントカードがあることで、それを参考にしながら表現を考えることができた。(速さや大きさ)
- ヒントカードがワークシートにもあれば、より効果的に使うことができたのではないかな。
- ワークシートがあったことで、グループ内で話し合われたことを確認しながら動きを考えることができた。
- 時間が経ってもワークシートを見て思い出すことができるので、よかった。
- ワークシートの歌詞に、様子を思い浮かべて歌う言葉に□の印があったことで、歌詞全部の動きを考えるのではなく、印を頼りに表現を考えることができていた。
- ▲ワークシートへ書くことに夢中になって、身体表現を伸び伸び行うことができなかつた。
- ▲様子を思い浮かべながら身体表現をすることがねらいであったので、動きながら活動することができればよかった。動きが少なかつた。
- 身体を使って練習する時間を設けてもよかったのでは。
- ▲場を広く取る工夫が必要だった。
- ▲発表の際、「歌う」ことと「身体表現」をすることの両方をいっぺんにやることは、児童は大変だった。
- 「歌う人」、「表現する人」のように分担するとよかった。
- 歌詞の内容と表現の関連づけは、9年間でも多く関わってくるので、継続して行っていくことが大切。